

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者, 大学名

学校法人日本赤十字学園：日本赤十字北海道看護大学

学校法人日本赤十字学園：日本赤十字秋田看護大学

学校法人日本赤十字学園：日本赤十字豊田看護大学

学校法人日本赤十字学園：日本赤十字広島看護大学

学校法人日本赤十字学園：日本赤十字九州国際看護大学

(2) 大学の位置

(日本赤十字北海道看護大学)

〒090-0011：北海道北見市曙町664番地の1

(日本赤十字秋田看護大学)

〒010-1493：秋田県秋田市上北手猿田字苗代沢17番地3

(日本赤十字豊田看護大学)

〒471-8565：愛知県豊田市白山町七曲12番33

(日本赤十字広島看護大学)

〒738-0052：広島県廿日市市阿品台東1番2号

(日本赤十字九州国際看護大学)

〒811-4157：福岡県宗像市アスティ1丁目1番地

- (注) ・ 対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・ 対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(3) 管理運営組織

大学名	職名	設置時	変更状況	備考
日本赤十字北海道看護大学	理事長 (該当しない場合は不要)	オオツカ ヨシハル 大塚 義治 (平成17年4月)	—	—
	学長	カワグチ ヨ 河口 てる子 (平成23年4月)	—	—
	研究科長	カワグチ ヨ 河口 てる子 (平成28年4月)	ニシカタ クミコ 西片 久美子 (平成28年4月)	
日本赤十字秋田看護大学	理事長 (該当しない場合は不要)	オオツカ ヨシハル 大塚 義治 (平成17年4月)	—	—
	学長	アンドウ ヒロコ 安藤 広子 (平成25年4月)	—	—
	研究科長	フジイ ヒロヒデ 藤井 博英 (平成28年4月)	—	—
日本赤十字豊田看護大学	理事長 (該当しない場合は不要)	オオツカ ヨシハル 大塚 義治 (平成17年4月)	—	—
	学長	アンドウ ツネサブロウ 安藤 恒三郎 (平成24年4月)	カマクラ 鎌倉 やよい (平成28年4月)	—
	研究科長	ニシカタ クミコ 西片 久美子 (平成28年4月)	ヤマダ サトコ 山田 聡子 (平成28年4月)	

日本赤十字 広島看護大学	理事長 (該当しない 場合は不要)	オオツカ ヨシハル 大塚 義治 (平成17年4月)	—	—
	学 長	コヤマ マリコ 小山 真理子 (平成24年4月)	—	—
	研究科長	マサキ ナオコ 眞崎 直子 (平成28年4月)	ヒヤクタ タケシ 百田 武司 (平成28年4月)	
日本赤十字九州国 際看護大学	理事長 (該当しない 場合は不要)	オオツカ ヨシハル 大塚 義治 (平成17年4月)	—	—
	学 長	ウラタ キクコ 浦田 喜久子 (平成25年4月)	タムラ ヤヨイ 田村 やよひ (平成28年4月)	—
	研究科長	ホンダ タミエ 本田 多美枝 (平成28年4月)		

(注) ・ 「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・ 大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・ 大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(4) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の博士後期課程の場合(平成29年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(4) - ① 調査対象研究科等の名称等

大学名	調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
			修業年限	入学定員	収容定員	
日本赤十字 北海道看護大学	大学院看護学研究科 共同看護学専攻 (博士後期課程) 博士(看護学)	博士 (看護学)	3年	2人	6人	基礎となる学部等 看護学部
日本赤十字 秋田看護大学	大学院看護学研究科 共同看護学専攻 (博士後期課程) 博士(看護学)	博士 (看護学)	3年	2人	6人	基礎となる学部等 看護学部
日本赤十字 豊田看護大学	大学院看護学研究科 共同看護学専攻 (博士後期課程) 博士(看護学)	博士 (看護学)	3年	2人	6人	基礎となる学部等 看護学部
日本赤十字 広島看護大学	大学院看護学研究科 共同看護学専攻 (博士後期課程) 博士(看護学)	博士 (看護学)	3年	2人	6人	基礎となる学部等 看護学部
日本赤十字 九州国際看護大学	大学院看護学研究科 共同看護学専攻 (博士後期課程) 博士(看護学)	博士 (看護学)	3年	2人	6人	基礎となる学部等 看護学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の2))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(4) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

大学名	報告年度 区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員 超過率	備考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
日本赤十字北海道看護大学	A 入学定員	2人 (-) [-]	—人 (-) [-]	2人 (-) [-]	—人 (-) [-]	—人 (-) [-]	—人 (-) [-]	1.50 倍	
	志願者数	3 (-) [-]	— (-) [-]						
	受験者数	3 (-) [-]	— (-) [-]						
	合格者数	3 (-) [-]	— (-) [-]						
	B 入学者数	3 (-) [-]	— (-) [-]						
	入学定員超過率 B/A	1.50		0.00		—			
日本赤十字秋田看護大学	A 入学定員	2人 (-) [-]	—人 (-) [-]	2人 (-) [-]	—人 (-) [-]	—人 (-) [-]	—人 (-) [-]	1.50 倍	
	志願者数	3 (-) [-]	— (-) [-]						
	受験者数	3 (-) [-]	— (-) [-]						
	合格者数	3 (-) [-]	— (-) [-]						
	B 入学者数	3 (-) [-]	— (-) [-]						
	入学定員超過率 B/A	1.50		0.00		—			
日本赤十字豊田看護大学	A 入学定員	2人 (-) [-]	—人 (-) [-]	2人 (-) [-]	—人 (-) [-]	—人 (-) [-]	—人 (-) [-]	1.50 倍	
	志願者数	2 (-) [-]	— (-) [-]	3 (-) [-]	— (-) [-]	— (-) [-]	— (-) [-]		
	受験者数	2 (-) [-]	— (-) [-]	3 (-) [-]	— (-) [-]	— (-) [-]	— (-) [-]		
	合格者数	2 (-) [-]	— (-) [-]	3 (-) [-]	— (-) [-]	— (-) [-]	— (-) [-]		
	B 入学者数	2 (-) [-]	— (-) [-]	3 (-) [-]	— (-) [-]	— (-) [-]	— (-) [-]		
	入学定員超過率 B/A	1.00		1.50		—			

日本赤十字広島看護大学	A 入学定員	2人 一人 () []	2 一人 () []	一人 一人 () []	2.00 倍	
	志願者数	4 () () [] []	 () () [] []	 () () [] []		
	受験者数	4 () () [] []	 () () [] []	 () () [] []		
	合格者数	4 () () [] []	 () () [] []	 () () [] []		
	B 入学者数	4 () () [] []	 () () [] []	 () () [] []		
	入学定員超過率 B/A	2.00	0.00	—		
日本赤十字九州国際看護大学	A 入学定員	2人 一人 () []	2 一人 () []	一人 一人 () []	1.00 倍	
	志願者数	2 () () [] []	 () () [] []	 () () [] []		
	受験者数	2 () () [] []	 () () [] []	 () () [] []		
	合格者数	2 () () [] []	 () () [] []	 () () [] []		
	B 入学者数	2 () () [] []	 () () [] []	 () () [] []		
	入学定員超過率 B/A	1.00	0.00	—		

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ () 内には、社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 「社会人」については、認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 - ・ [] 内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで**記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、**計算の際は「入学定員超過率」と同様に**してください。

(4) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

大学名	報告年度 学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
日本赤十字北海道看護大学	1年次	3 [-] (-)	— [-] (-)					
	2年次	/		— [-] (-)				
	3年次			/		— [-] (-)	— [-] (-)	
	計	3 [-] (-)	— [-] (-)			0 [-] (-)	— [-] (-)	
日本赤十字秋田看護大学	1年次	3 [-] (-)	— [-] (-)					
	2年次	/		— [-] (-)				
	3年次			/		— [-] (-)	— [-] (-)	
	計	3 [-] (-)	— [-] (-)			0 [-] (-)	— [-] (-)	
日本赤十字豊田看護大学	1年次	2 [-] (-)	— [-] (-)	3 [-] (-)	— [-] (-)	— [-] (-)	— [-] (-)	
	2年次	/		2 [-] (-)	— [-] (-)	— [-] (-)	— [-] (-)	
	3年次			/		— [-] (-)	— [-] (-)	
	計	2 [-] (-)	— [-] (-)			5 [-] (-)	— [-] (-)	
日本赤十字広島看護大学	1年次	4 [-] (-)	— [-] (-)					
	2年次	/		— [-] (-)				
	3年次			/		— [-] (-)	— [-] (-)	
	計	4 [-] (-)	— [-] (-)			0 [-] (-)	— [-] (-)	

日本赤十字九州国際看護大学	1年次	2 [—] (—)	— [—] (—)				
	2年次	/		— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)
	3年次			/			— [—] (—)
	計	2 [—] (—)	0 [—] (—)				— [—] (—)

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況について、内数で**記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。

(4) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

大学名	区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
				退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
日本赤十字 北海道 看護大学	平成28年度 入学者	3 人	0 人	平成28年度	0 人	— 人	—	0 %
				平成29年度	— 人	— 人	—	
				平成30年度	— 人	— 人	—	
	平成29年度 入学者	— 人	0 人	平成29年度	— 人	— 人	—	#DIV/0! %
				平成30年度	— 人	— 人	—	
	平成30年度 入学者	— 人	0 人	平成30年度	— 人	— 人	—	#VALUE! %
合 計	3 人	0 人					0 %	
日本赤十字 秋田 看護大学	平成28年度 入学者	3 人	0 人	平成28年度	0 人	— 人	—	0 %
				平成29年度	— 人	— 人	—	
				平成30年度	— 人	— 人	—	
	平成29年度 入学者	— 人	0 人	平成29年度	— 人	— 人	—	#DIV/0! %
				平成30年度	— 人	— 人	—	
	平成30年度 入学者	— 人	0 人	平成30年度	— 人	— 人	—	#VALUE! %
合 計	3 人	0 人					0 %	
日本赤十字 豊田 看護大学	平成28年度 入学者	2 人	0 人	平成28年度	0 人	— 人	—	0 %
				平成29年度	0 人	— 人	—	
				平成30年度	— 人	— 人	—	
	平成29年度 入学者	3 人	0 人	平成29年度	0 人	— 人	—	0 %
				平成30年度	— 人	— 人	—	
	平成30年度 入学者	— 人	0 人	平成30年度	— 人	— 人	—	#VALUE! %
合 計	5 人	0 人					0 %	
日本赤十字 広島 看護大学	平成28年度 入学者	4 人	0 人	平成28年度	0 人	— 人	—	0 %
				平成29年度	— 人	— 人	—	
				平成30年度	— 人	— 人	—	
	平成29年度 入学者	— 人	0 人	平成29年度	— 人	— 人	—	#DIV/0! %
				平成30年度	— 人	— 人	—	
	平成30年度 入学者	— 人	0 人	平成30年度	— 人	— 人	—	#VALUE! %
合 計	4 人	0 人					0 %	

日本赤十字九州国際看護大学	平成28年度入学者	2 人	0 人	平成28年度	0 人	— 人	—	0 %
				平成29年度	— 人	— 人	—	
				平成30年度	— 人	— 人	—	
	平成29年度入学者	— 人	0 人	平成29年度	— 人	— 人	—	#DIV/0! %
				平成30年度	— 人	— 人	—	
	平成30年度入学者	— 人	0 人	平成30年度	— 人	— 人	—	#VALUE! %
	合計	2 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他